

付帯調査（自由意見）

（令和6年3月調査）

景況調査票の自由意見欄に196企業から貴重なご意見をいただきました。ご多用中にもかかわらずご記入をいただき感謝申し上げます。

図表1 最近の状況や関心事

分類項目	回答数※
1. 経済・景気動向	68
2. 業界の動向	63
3. 顧客・得意先	49
4. 為替	35
5. 金融・資金繰り	24
6. 売上・収益	66
7. 物価変動	48
8. 消費税	19
9. 人材の確保・育成	38
10. その他	10

※複数回答

特徴的なご意見を掲載いたします。なお、掲載にあたり若干の加筆・修正を加えています。

1. 経済・景気動向について

- 大企業の好決算見通しに対し小規模企業に明るさが見えない。小規模企業と取引している零細・個人事業者の廃業が多く代替先を捜すのに大変な状況である。（貴金属・宝石製造業）
- 日経平均株価は最高値となったが、消費が進んでおらず品物が売れない。食品の値上がりで物にお金まわってこないようだ。（なめし革・革製材料製造業）
- 中国経済悪化の影響が大きくなっている。業況の悪化で賃上げの気運が萎んできている。（ばね・他金属製品製造業）

- 半導体及び電子部品の入手が現在でも困難であり、かつ価格が高止まりしている。（医療用機器製造業）
- 相変わらず先行不透明、2～3ヶ月先の短期見通しすら読めない。（ゴム・プラスチック卸売業）
- 好調な業種と不調な業種の差が大きい。（家具・インテリア小売業）
- 日経平均株価は史上最高値を更新したが影響が感じられず、景気が良くなっているようにも思えない。（その他専門サービス業）

2. 業界の動向について

- 同業の間でもリーマンショックより悪いとの意見交換をしている。（金属被覆・熱処理製造業）
- 外注先の廃業が多く、自社内で再度生産する方向で動いている。少量多品種生産体制を確立して仕入の無駄をなくし利益率アップとブランド化が喫緊の課題。（装身具・身の回り品卸売業）
- 本年に入り日経平均株価上昇など大企業中心に業績上昇があるようだが、住宅関連の中小企業にとってはかなり景気動向にかけりがみえている。特に2月以降の売上がかなり低下する傾向を示している。（家具・建具卸売業）
- 溶剤やプラスチックなどの石油化学製品の国内プラントが全般的に老朽化している。また、ここ数年の傾向で供給責任よりも採算重視の傾向に各社とも傾いているため、突然1年後に生産を中止するなどの事例が相次いでいる。今後もこの傾向はますます加速すると思われ、新たな海外品の仕入ルートの確立など、高リスクな対応を強いられることになり、危機感を募らせている。（その他化学製品卸売業）
- 新型コロナウイルスが収束し、歩きやすいスニーカーからオシャレな靴に売れ筋が変化している。ただ、革靴やヒールの高いパンプスではなく、カジュアルなオシャレ靴が売れており「スニーカー以上、パンプス未満」がキーワードになりそう。（靴・履物小売業）

- 円安が続く輸入冷凍品が高止まり、人件費上昇のため商品価格も上昇。鮮魚等の取れ高も少なく感じられる。小売店にはかなり苦しい状況。（鮮魚小売業）

3. 顧客・得意先について

- 従来の取引先であるアパレルブランドがなくなり、昨年より売上が減った。また、前売りが悪いのか追加受注が全くなく、さらに新規オーダーも少ない。（ニット製衣服製造業）
- インバウンドの需要が増えつつあるが国内の消費が少ない。（呉服・服地・寝具小売業）

- 消費意欲が低い。物価の高騰が気にかかる。 (男子服小売業)
- 人々の生活のしかたが変わってきているので、変化に対応する商品を見つけるのが課題。 (靴・履物小売業)

4. 為替について

- 原材料が輸入品であり、商社は円安をそのまま転嫁してくるが、弊社は製品価格にそのまま転嫁はできない。 (ゴム製品製造業)
- 円安の影響で輸入する原材料価格が上がり、単価を上げざるをえない。売れ行きが下がるのではないかと不安。 (がん具・事務用品製造業)
- 今の円安ドル高は日本経済の適正水準から大きく離れていると感じる。 (文房具・事務用品卸売業)
- 石灰セメントを製造するための石灰、石油の輸入価格については敏感にならざるをえない。特に為替動向については、仕入価格に影響するため関心が高まる。 (セメント・板ガラス卸売業)
- 円対ドルがあまりにも安すぎて仕入材料の高騰が急激すぎて困る。 (ジュエリー製品小売業)

5. 金融・資金繰りについて

- 4年前の新型コロナウイルス感染症の蔓延により、依頼がなくなり売上が大変減少し、資金繰りに苦労。 (情報通信機器製造業)
- 日経平均株価が高くなっていく中で、業界の数字は伸びず、売上・粗利ともに前期よりも底にある。また、金相場の値上がり仕入値に直結しているため資金繰りにはかなり苦労している。コロナ禍の借入金についても返済が始まり、ますますキャッシュ・フローに問題が出てくる。 (装身具・身の回り品卸売業)
- 新型コロナウイルス感染症や物価高により、売上が伸びないまま借入金の返済に利息がプラスされ、厳しい状況。 (普通洗濯業)

6. 売上・収益について

- 新年度より得意先に対する値上げを実施し、収益の改善が見込まれる。一方で、電力費の新制度によるコスト増も懸念される。 (自動車・同附属品製造業)
- 輸入100%のため円安が長く続き、売上収益に大きく影響している。 (かばん・袋物卸売業)
- 仕入価格が上昇を続けており、消費者の買い控えや低価格指向が強まり、利益確

- 保が厳しい状況にある。 (各種食料品小売業)
- 様々な物価が上がり仕入価格も上がり、価格改定が追いつかず収益が減っている。 (燃料小売業)

- 日経平均株価は初めて4万円を突破して、史上最高値を更新した。株価と従業員が実感する景気の良さが比例するためには、物価高に打ち勝つ賃上げを促進できるような利益体質の経営が求められる。顧客との関係性の見直しや問題解決能力に長けた人材の育成、よりよい資金繰りの推進等が課題である。 (その他専門サービス業)
- 材料費・光熱費は高騰しているが価格に転嫁すると商品が売れず、価格を据え置いているため利益が出ない。また、東京都最低賃金の上昇による人件費アップのため、ダメージを受けている。 (一般飲食店)
- コロナ禍明けの一年、着実に回復してきているが客数だけはコロナ禍前の8~9割程度で推移。インフレの物価高が売上を牽引してきたが、景気が良くて売上が上がっている実感はあまりない。 (酒場・ビアホール)

7. 物価変動について

- 単価が上がらず、コストが上がり苦しい。 (金属加工機械製造業)
- 物価高もあり、コロナ禍の時より悪い月もある。天候、温暖化の影響で季節物も売れない月もあり、来店客も少ない。これから消費が伸びる要素がなかなかない。 (かばん・袋物小売業)
- 物価上昇に賃金上昇が追い付かず個人消費が低迷している。個人消費を増大させるほどの賃金上昇が望まれる。 (鮮魚小売業)
- 日経平均株価が上がり、経済も好調と言われているが、実感がない。物価等の上昇率があまりにすぎすぎるからか。 (広告・ディスプレイ業)
- 諸物価高騰で外食を控えている感じがする。 (一般飲食店)
- 原材料の高騰、人件費の賃上げなどコストの値上がりが続く中、販売価格を上げてしまうと集客や来客頻度が下がってしまうため、値上げに踏み切れない。また、お客様が予算を決めて店を探すため、見ための価格帯が上がると選ばれなくなってしまう。 (酒場・ビアホール)

8. 消費税について

- インボイス制度が期の途中から始まっており、非登録業者の控除率が80%だったりするので混乱している。3年後は更に80%と50%の控除率が混在するので頭が痛い。 (産業用機械製造業)

- インボイス登録企業に対する対応に苦慮。 (文房具・事務用品卸売業)

9. 人材の確保・育成について

- 地方工場の製造ラインの新規人材不足は明らか。早急な対応が必要と考える。 (窯業・土石製品製造業)
- 町工場界限では、廃業する会社は何件か出てきている。後継者がいない、人材確保出来ない諦め廃業に近い。 (金属被覆・熱処理製造業)
- 大都市圏等との賃金格差情報に若者の関心が集まり、地域内での人材確保の熾烈さが増している。今後の人材確保に大きな影響が出てくるものと思う。また、熟練工の退職と、中間工員と新人とのジェネレーションギャップに苦勞している。 (自動車・同附属品製造業)
- 他業種の賃金上昇で、人材確保も困難になりつつあり、人手不足が常態化している。 (各種食料品小売業)
- 人材の確保及び人件費の増加が経営を厳しくしている。 (コンビニエンスストア)
- 政府からの賃上げ圧力はすごいものがあるが、中小企業はどのように対応している、また対応するつもりなのか。1～2%ならまだしも5%超となると、やはり困難。 (その他土木建築サービス業)
- 中途採用が取りづらくなった。 (事務用機器他賃貸業)
- 中小の病院を対象に職業紹介を行っているが、常勤者の採用がとても難しくなっていると相談を受けることが増えた。 (職業紹介業)

10. その他

- 賃金引上げ促進の声はあるが、現実には日系企業含む海外で、日本製から採算に疑問のある廉価販売の中国製の素材に切り換えられる等の動きがあり、非常に厳しい。 (鉄鋼・非鉄金属製造業)
- 4月に賃上げを予定しているが、中小企業のため2～3%位がやっとの状況。 (その他電気機器卸売業)
- 昨年に引き続き今年もベースアップ予定。今はベースアップ出来るが、受注環境に変化が生じた時に持ちこたえられるか不安。 (建築設計業)